

お寄せください 風と恋の一句

第7回俳句コンテスト作品募集集中

俳句で文化の薫る町づくり実行委員会（藤岡徹委員長）が主催する「風と恋の俳句コンテスト」の作品募集が始まりました。募集期間は、五月一日から八月二十五日まで。表彰式は十月十二日、総合センターで行われます。

（うち町内千二百四十六句）が寄せられました。世界で一番短い文学といわれる俳句。四季折々の自然豊かな葛巻には句の題材が満ちあふれています。あなたも「風」や「恋」をテーマに一句ひねってみてはいかがでしょう。

応募方法など詳しくは、教育委員会事務局生涯学習推進室（☎役場内線二七六）へお問い合わせください。

第7回
もつと奥の細道

葛巻町
俳句コンテスト

岩手県葛巻町役場
第7回
風と恋の俳句コンテスト
募集係

募集期間
平成20年5月1日から
8月25日まで
当日消印有効

テーマ 風・恋
賞までかきさんを遠者に迎えて

優秀作品は、袖山高原と道の駅くずまき高原に句碑が建立されるほか、町民を対象とした特別賞も設けられています。選者は、第一回から指導していただいている俳人・黛まどかさんです。

昨年、全国から七千三十句

【応募方法と応募先】

①はがき
〒028-5495 葛巻町役場
風と恋の俳句コンテスト募集係

②ファクス
0195-66-4389

③ホームページ
<http://www.town.kuzumaki.iwate.jp/sg/>

④メール
haku2008@town.kuzumaki.iwate.jp

俳句歳時記

このコーナーでは、季語と参考になる名句を紹介します。あなたも一句詠んでみませんか。

風薫る【薫風】夏
青葉を吹き抜けるすがすがしい風として使われる。
風薫る童女の下駄の軽さかな
市ヶ谷洋子

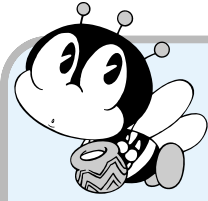
虹【朝虹 夕虹 二重虹】夏
虹は夕立のあとなど夏によく見られる。
野外劇終わりにて虹もはづされる
小笠原風策

帰省【帰省子】夏
夏の休暇を利用してふるさとへ帰ることをいう。
果樹の幹苔厚かりし帰省かな
中村草田男

更衣【衣更ふ】夏
冬から春の間に着用していたものを夏用に替えること。
更衣母に叱られたき日なり
藤木俱子

◇参考 角川書店編
「今始める人のための俳句歳時記」

「この町で みんなといっしょに 学びたい」 神小路未歩さん（葛巻小6年）の作品



まなびい 掲示板

歴史探訪講座①～町の文化財巡り～

とき 6月24日（火）
9:00～15:00（総合センター集合）
ところ 馬淵神社～加茂神社～立神神社
内容 町文化財地図を基に町内の神社を巡ります。
講師 藤岡一雄さん（町文化財保護委員）
申込み 6月16日（月）までに葛巻町公民館（☎役場内線164）へ

俳句で遊ぼう①

とき 6月22日（日）9:00～14:00
ところ くずまき高原牧場
（総合センター9:00集合）
内容 俳句の基本と吟行体験
講師 川原満徳さん（盛岡市）
対象 小学生以上（定員20人）
申込み 6月18日（水）までに葛巻町公民館（☎役場内線164）へ

岩手県北ジャズ体操講習会

とき 6月29日（日）9:45～15:00
ところ 社会体育館
内容 仲間と楽しく交流できる体操
講師 村田佳壽子さん（全日本ジャズ体操協会主宰）
対象 中学生以上（親子の参加大歓迎）
申込み 6月25日（水）までに社会体育館（☎66-3607）へ

青少年の健全育成をサポート

三人の岩手県青少年育成委員を任命

県は、青少年の健全育成を推進するため、中学校の学区ごとに一人の岩手県青少年育成委員を配置しています。

このほど本町からは、葛巻中学校区の服部晴男さん（59・城内小路）、小屋瀬中学校区の土谷美保子さん（47・元木）、江刈中学校区の木戸場弘祐さん（52・小苗代）の三人が新たに県知事から任命されました。

県青少年育成委員は、地域の青少年育成組織との連絡調整を図りながら、青少年の社会参加や非行防止、環境浄化などに関する職務を担います。

小中学生やその保護者の悩みなどの相談にも応じ、個人の人格を尊重して知り得た秘密は固く守られます。

任期は本年四月一日から二年間です。

岩手県青少年育成委員の皆さん

木戸場弘祐さん（小苗代）
土谷美保子さん（元木）
服部 晴男さん（城内小路）

いきいき子育て 14

子どものことを 知ることが大切

親が子を思いやるのは当たり前と思われていますが、どれだけ親が実際に子どもを思いやっているでしょうか。

思いやりとは、子どものことをよく知ることです。よく耳を傾け、子どもの中の世界がどんなものなのかを理解しようとし、たとえば自分の思う通りでなくてもその子の世界を受け入れることです。

子どもの存在に感謝し、尊敬を払い、愛情を深めていくことによって、親子の関係は進歩していきます。思いやりの心をもって接すれば、話をするのが安心で楽しくなり、いじめなどの悩みも自然に親に打ち明けられるようになるはず。
◇参考 文部科学省「家庭教育手帳」V